date：平成 30 年 7 月 27 日。

エコアクション２１

# 平成２９年度版

# 環境活動レポート

《活動期間　平成 29 年 5 月～平成 30 年 4 月》

## 株式会社　リサイクルクリーン

袋井工場、袋井ＲＰＦ工場

経営理念

**リサイクルクリーンは、顧客満足、順法の精神、資源を守る心を誇りにし、あらゆる環境変化のなかで常に進化し続ける企業集団を目指します。**

・ 顧客満足

常にお客様が喜んでくれるサービスを考え提供し続ける。

・ 遵法の精神

関係法令を遵守する。法律に背かない。

・ 資源を守る心

循環型社会構築へ向けて、リサイクル率の向上。

埋立、単純焼却の廃止

・ 常に進化し続ける企業集団

あらゆる変化に柔軟に対応する。

全社員が共に学習し、自らの能力を発揮する。

＜制定日　平成17年５月１日＞

静岡県浜松市天竜区二俣町二俣41

株式会社　リサイクルクリーン

代表取締役　藤城　太郎

1　組織の概要

**①　会社概要**

会社名　　株式会社　リサイクルクリーン
代表取締役　　藤城　太郎
本社所在地　　〒431-3314
静岡県浜松市天竜区二俣町二俣 41
℡　053-925-1366　FAX 053-925-6030
HP　http//www.recycle-clean.co.jp
環境管理責任者　取締役品質保証部長　栗田　秀男
本部事務局長　　事務部長　　藤見　正幸
連絡先　　TEL 053-925-1366　FAX 053-925-6030

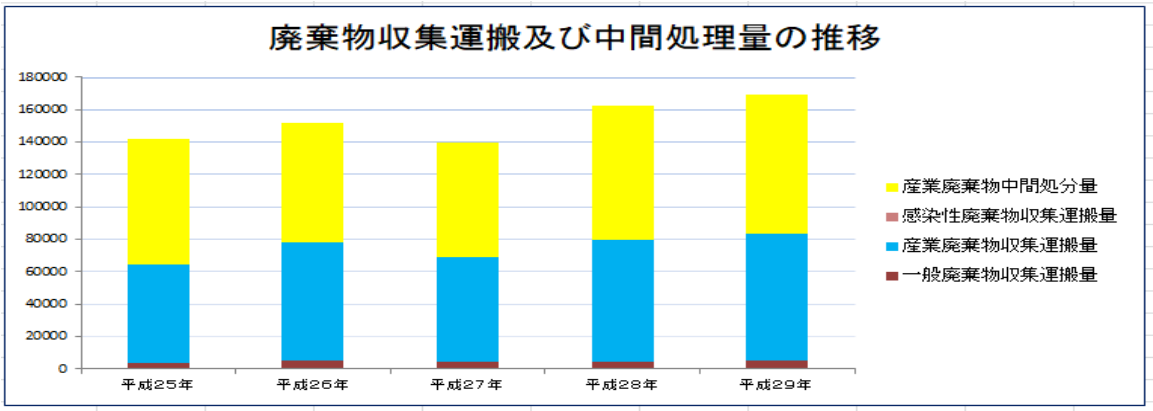
**②　事業の概要**

事業内容　　一般廃棄物（市町村委託、事業系）の収集運搬業、産業廃棄物の収集運搬・中間処理、RPF 固形燃料の製造業、不動産の売買・仲介及び賃貸業、建築工事・土木工事・建物解体工事業、再生資源卸売業、清掃業、再生骨材の販売、自動車小売業、損害保険代理業

設立　　昭和 62 年(1987 年)3 月 27 日
資本金　　8,200 万円
年間売上　　49 億円(平成 29 年度)
従業員　　294 名(平成 29 年 4 月末日現在)
敷地面積(全社)　61,313 ㎡
延床面積(全社)　18,330 ㎡

**③　事業規模**

廃棄物処理量　一般廃棄物収集運搬量　　4,585t/年(平成 29 年度)
産業廃棄物収集運搬量　　78,846t/年(平成 29 年度)
感染性廃棄物収集運搬量　　46t/年(平成 29 年度)
産業廃棄物中間処分量　　85,381t/年(平成 29 年度)




④　許可及び届出一覧

A 事業の範囲（許可行政区域、許可番号、有効期限）　表4－1

| 許可種類 | 県・市・町名 | 許可番号 | 許可年月日 | 有効期限 |
|---|---|---|---|---|
| 産業廃棄物処分業 | 静岡県 | 02221000340 | H27.10.13 | H34.10.12 |
| | 浜松市 | 06321000340 | H27.10.9 | H34.10.8 |
| 産業廃棄物収集運搬業 | 静岡県 | 02202000340 | H27.12.2 | H34.12.1 |
| | 愛知県 | 02300000340 | H27.5.19 | H32.5.18 |
| | 三重県 | 02400000340 | H28.11.17 | H33.11.16 |
| | 富山市 | 08500000340 | H25.9.17 | H30.9.16 |
| | 福井県 | 01801000340 | H29.6.8 | H34.6.7 |
| 特別管理産業廃棄物収集運搬業 | 静岡県 | 02251000340 | H27.12.2 | H34.12.1 |
| | 愛知県 | 02350000340 | H30.6.28 | H35.6.9 |
| 一般廃棄物収集運搬業 | 浜松市 | 第33号 | H29.4.1 | H31.3.31 |
| | 磐田市 | 第18-01-025号 | H30.4.1 | H32.3.31 |
| | 袋井市 | 袋井市一廃許可第24号 | H30.4.1 | H32.3.31 |
| | 掛川市 | 掛環ご許可第 9-2 号　31 号 | H29.9.22 | H31.9.21 |
| | 御前崎市 | 御市環許可第 41-9 号 | 2018.1.29 | 2020.1.28 |
| | 藤枝市 | 藤環指第 1-19 号 | H30.4.1 | H30.3.31 |
| | 森町 | 森生還許可第10号 | H30.4.1 | H32.3.31 |

B　産業廃棄物処分業（中間処理）詳細　表4－2

| 品目名 | 許可施設設置工場（処理方法） | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 第一 | 第二 | 大川 | 浜北 | 袋井 | 袋井 RPF | 岡部 | 磐田 | 桜台 |
| 廃プラスチック類 | 破砕 | 破砕 | 破砕<br>圧縮<br>溶融固化 | 破砕<br>圧縮 | 破砕<br>圧縮<br>切断<br>溶融固化 | 固形燃料製造 | 破砕<br>圧縮 | | 破砕<br>破砕・成形 |
| 紙くず | 破砕 | 破砕 | 破砕<br>圧縮<br>溶融固化 | 破砕<br>圧縮 | 破砕<br>圧縮 | 固形燃料製造 | 破砕<br>圧縮 | | 破砕<br>破砕・成形 |
| 木くず | 破砕 | 破砕 | 破砕<br>溶融固化 | 破砕 | 破砕 | 固形燃料製造 | 破砕<br>圧縮 | | 破砕<br>破砕・成形 |
| 繊維くず | 破砕 | 破砕 | 破砕<br>圧縮<br>溶融固化 | 破砕<br>圧縮 | 破砕<br>圧縮<br>切断 | 固形燃料製造 | 破砕<br>圧縮 | | 破砕<br>破砕・成形 |
| 金属くず | 破砕<br>圧縮 | 破砕 | 破砕 | 破砕<br>圧縮 | 破砕<br>圧縮 | | 破砕<br>圧縮 | | 破砕 |
| ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず | 破砕 | 破砕 | 破砕 | 破砕 | 破砕 | | 破砕 | 破砕 | 破砕 |
| がれき類 | 破砕 | 破砕 | 破砕 | 破砕 | 破砕 | | 破砕 | 破砕 | 破砕 |
| ゴムくず | | | | | | | | | 破砕・成形 |
| 汚泥 | | | | | | | | 改質固化 | |

C　産業廃棄物処理能力一覧表　表4－3

| 事業所 | 施設 | 品目（廃棄物の種類）　単位t／日 |
|---|---|---|

| | | 廃ﾌﾟﾗ | 紙屑 | 木屑 | 繊維 | 金属 | ｶﾞﾗ陶 | がれき | ｺﾞﾑ屑 | 汚泥 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第一 | 圧縮 | | | | | 33.48 | | | | |
| | 破砕 | 4.2 | 2.94 | 4.64 | | 6.99 | 18.14 | 4.97 | | |
| | 破砕 | | | | | | 17.6 | | | |
| 第二 | 破砕 | 4.78 | 5.13 | 8.19 | 13.6 | 12.56 | 39.49 | 15.01 | | |
| 大川 | 圧縮 | 107.68 | 116.8 | | 116.8 | | | | | |
| | 破砕 | 68.9 | 137.8 | 160.8 | 137.8 | 459.4 | 344.6 | 413.5 | | |
| | 溶融固化 | 26.2 | 28.1 | 24.7 | 27.6 | | | | | |
| 浜北 | 圧縮 | 148.16 | 97.68 | 87.44 | 79.44 | | | | | |
| | 破砕 | 3.18 | 2.68 | 3.62 | 4.89 | 4.56 | 3.8 | 3.8 | | |
| 桜台 | 破砕 | 24.5 | 8.0 | 23.8 | 5.7 | 45.2 | 69.8 | 95.2 | | |
| | 破砕・成形 | 11.68 | 0.8 | 0.64 | 2.4 | | | | 0.48 | |
| 磐田 | 破砕 | | | | | | 108.8 | 256.0 | | |
| | 改質固化 | | | | | | | | | 9.93 |
| 岡部 | 圧縮 | 148.16 | 97.68 | 95.2 | 87.44 | 79.44 | | | | |
| | 破砕 | 45.7 | 45.7 | 70.6 | 95.5 | 124.6 | 207.6 | 481.6 | | |
| | 破砕 | 3.85 | 3.24 | 4.12 | 5.15 | 5.34 | 10.86 | | | |
| 袋井 | 圧縮 | 148.16 | 97.68 | | 87.44 | 79.44 | | | | |
| | 破砕 | 69.3 | 69.3 | 107.0 | 144.8 | 188.9 | 314.8 | 730.3 | | |
| | 破砕 | 21.7 | 30.4 | 63.8 | 36.4 | 59.3 | 138.3 | 229.2 | | |
| | 溶融固化 | 0.33 | | | | | | | | |
| | 切断 | 3.84 | | | 7.68 | | | | | |
| 袋井 RPF | 固形燃料製造 | 169.92 | 168.24 | 168.48 | 168.48 | | | | | |

D　登録車両台数表（利用目的別車両保有台数一覧）　表4－4

| 車体の形状 | 積載量 | 登録台数 | 使用制限 |
|---|---|---|---|
| キャブオーバ （ユニック車） | 10 トン | 1 台 | なし |
| | 6トン | 8 台 | なし |
| | 4トン | 33 台 | なし |
| キャブオーバ （平ボディ車） | 2～4 トン | 5 台 | なし |
| 脱着装置付コンテナ専用車 （F ロール車） | 10トン | 6 台 | なし |
| | 4トン | 27 台 | なし |
| | 2トン | 5 台 | なし |
| ダンプ | 10トン | 3 台 | なし |
| | 4～6トン | 1 台 | なし |
| | 2トン | 3 台 | なし |
| 塵芥車（パッカー） | 2～4トン | 51 台 | なし |
| 冷蔵冷凍車 | 2トン | 1 台 | なし |
| ステーションワゴン他 （営業車） | | 25 台 | なし |

E　行政区域別収集運搬取扱品目一覧　　表４－５

| 許可品目 | 静岡県 | 愛知県 | 三重県 | 福井県 | 富山市 | 浜松市 | 磐田市 | 袋井市 | 森町 | 掛川市 | 御前崎市 | 藤枝市 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 一般廃棄物 | | | | | | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 廃プラスチック類 | ● | ● | | ● | ● | | | | | | | |
| 紙くず | ● | ● | | ● | | | | | | | | |
| 木くず | ● | ● | | ● | | | | | | | | |
| 金属くず | ● | ● | | | | | | | | | | |
| ガラス・コンクリートくず磁器くず | ● | ● | ● | | | | | | | | | |
| がれき類 | ● | ● | | | | | | | | | | |
| 繊維くず | ● | ● | | ● | | | | | | | | |
| 燃え殻 | ● | | | | ● | | | | | | | |
| 汚泥 | ● | | | | | | | | | | | |
| 廃油 | ● | | | | | | | | | | | |
| 廃酸 | ● | | | | | | | | | | | |
| 廃アルカリ | ● | | | | | | | | | | | |
| 動植物性残さ | ● | | | | | | | | | | | |
| 鉱さい | ● | | | | | | | | | | | |
| ばいじん | ● | | | | | | | | | | | |
| ゴムくず | ● | | | | | | | | | | | |
| 感染性産業廃棄物 | ● | ● | | | | | | | | | | |
| 引火性廃油 | ● | | | | | | | | | | | |

＜環境事業紹介＞

| RPF(固形燃料)　桜台、大川、袋井工場で作成。 | | 再生砕石作成・販売 |
|---|---|---|
| ・RPF 生産機・ | ・RPF（固形燃料）・ | ・磐田工場 |
| | | |

2　レポートの対象期間、発行日及び対象範囲

① **レポート対象期間及び発効日**

対象期間　平成２９年５月１日～平成３０年４月３０日　発行日　平成２９年７月２７日

② 対象範囲（対象の事業所）

第一工場　〒431-3314　静岡県浜松市天竜区二俣町二俣 42-1
敷地面積　5,164 ㎡　延床面積　1,105 ㎡　従業員数　22 名　所属車両台数 19 台
廃棄物処理量　4,666t/年（平成 29 年度）　処分方法：破砕、圧縮

第二工場　〒431-3314　静岡県浜松市天竜区二俣町二俣 20-1
敷地面積　2,693 ㎡　延床面積　132 ㎡　　従業員数　8 名
廃棄物処理量　3,405t/年（平成 29 年度）　処分方法：破砕

大川工場　〒431-3755　静岡県浜松市天竜区大川 457-15
敷地面積　5,074 ㎡　延床面積　2,759 ㎡　従業員数　69 名　　所属車両台数 49 台
廃棄物処理量　12,491t/年（平成 29 年度）　処分方法：破砕、圧縮、溶融固化　＊RPF生産工場

浜北工場　〒434-0011　静岡県浜松市浜北区上島 2345-388
敷地面積　2,574 ㎡　延床面積　1,756 ㎡　従業員数　0 名
廃棄物処理量　475t/年（平成 29 年度）　処分方法：破砕、圧縮

磐田工場　〒438-0002　静岡県磐田市大久保 729-1
敷地面積　6,580 ㎡　延床面積　―　　従業員数　8 名　所属車両台数　4 台
廃棄物処理量　27,065t/年（平成 29 年度）　処分方法：破砕、改質固化

岡部工場　〒421-1102　静岡県藤枝市岡部町宮島 963
敷地面積　9,606 ㎡　延床面積　3,250 ㎡　従業員数　33 名　所属車両台数　20 台
廃棄物処理量　9,161t/年（平成 29 年度）　処分方法：破砕、圧縮

袋井工場　〒437-0011　静岡県袋井市村松 1553-9
敷地面積　21,399 ㎡　延床面積　4,711 ㎡　従業員数　34 名　所属車両台数　14 台
廃棄物処理量　21,123t/年（平成 29 年度）　処分方法：破砕、圧縮、切断、溶融固化

袋井 RPF 工場　〒437-0011　静岡県袋井市村松 1553-9
延床面積　1853 ㎡（袋井工場敷地内に新設）　従業員数　8 名
廃棄物処理量　13,216t/年（平成 29 年度）　処理方法：固形燃料製造（破砕　圧縮固化）

桜台工場　〒431-1104　静岡県浜松市西区桜台 5-108-4
敷地面積　6,260 ㎡　延床面積　2,250 ㎡　従業員数　27 名　所属車両台数　13 台
廃棄物処理量　6,957t/年（平成 28 年度）　処分方法：破砕、破砕・成形　＊RPF生産工場

浜松営業所　〒431-3115　静岡県浜松市東区西ヶ崎 1001-1
敷地面積　3,280 ㎡　延床面積　1,802 ㎡　従業員数　24 名　所属車両台数　19 台
一般廃棄物収集運搬 4,585t/年（平成 29 年度）　ダンボール等リサイクル資源物の収集

協同センター　〒434-0015　静岡県浜松市浜北区於呂 4000-1
敷地面積　1.366.7 ㎡　従業員数　3 名　所属車両台数　1 台
新車中古車販売、買取、車検、点検、板金、損保代理店

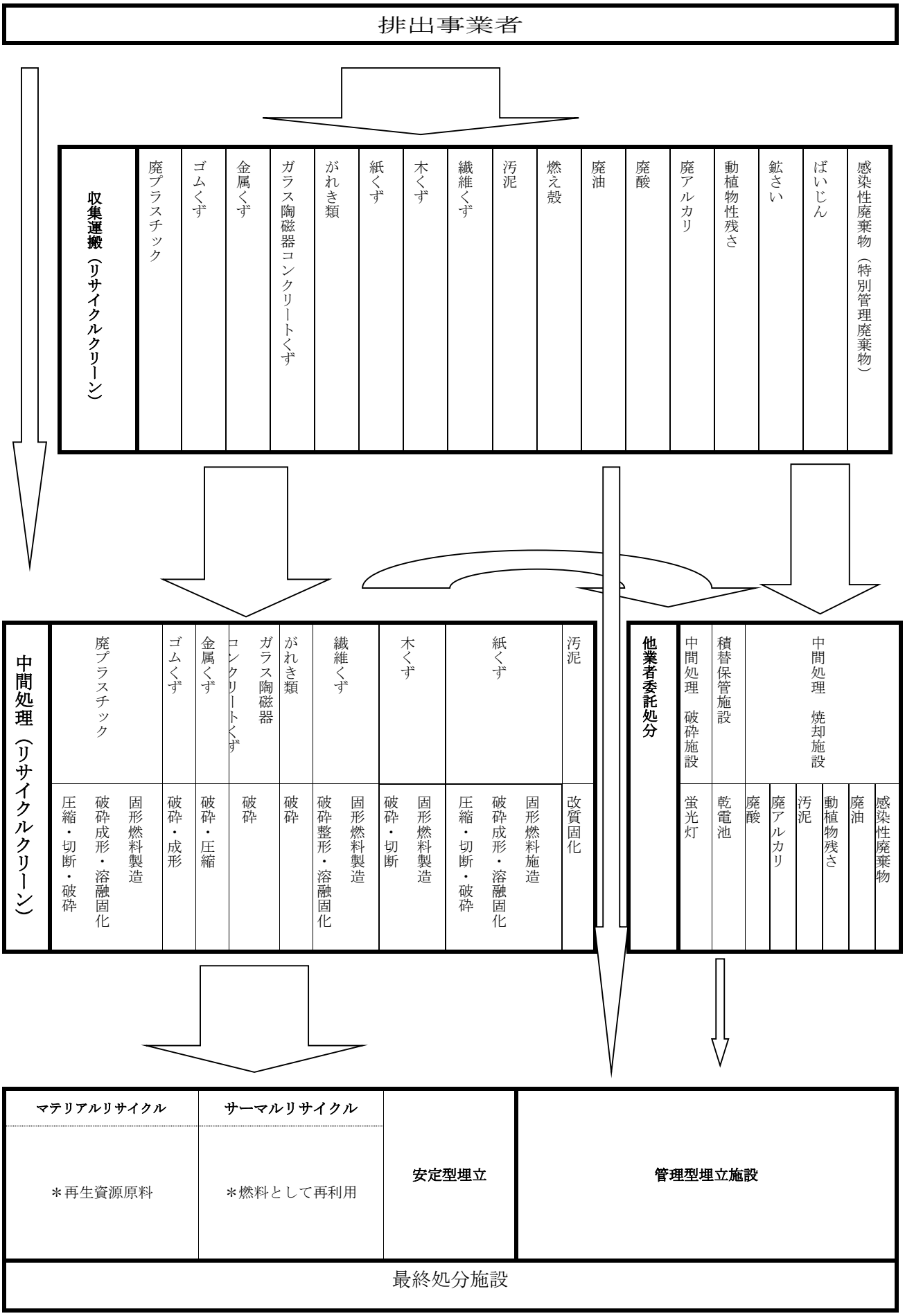
管理・不動産部　〒431-3314　静岡県浜松市天竜区二俣町二俣 1056-1
敷地面積　144.53 ㎡　従業員数　2 名　所属車両台数　1 台　不動産取引各種、賃貸アパート管理

営業部、事務部　〒431-1103　静岡県浜松市天竜区二俣町二俣 41（第一工場敷地内）
従業員数　36 名　所属車両台数　19 台

営業部解体班　〒431-1103　静岡県浜松市天竜区二俣町二俣 41（第一工場敷地内）
従業員数　15 名　所属車両台数　10 台　解体工事の施工

## ④　産業廃棄物処理工程図

図4－1



3　環境方針

# 環境方針

当社は、静岡県の企業及び市町村等を中心に多数の顧客を有し、一般廃棄物、産業廃棄物の収集運搬・中間処理及びリサイクル関連事業を営んでいます。これらの活動を行う企業として、「地球環境の保全」が人類共通の課題であることを認識し、企業活動のあらゆる面で「地球環境保護」に配慮した事業活動を展開します。

1　事業活動に係わる環境影響を認識し、技術的・経済的に可能な範囲で環境目標及び環境活動計画を定め、環境汚染の予防を推進するとともに、環境マネジメントシステムの継続的改善を図る

2　環境関連法規及び当社が同意したその他の要求事項を遵守するとともに、必要に応じて自主管理基準を設定し、維持管理を行う。

3　当社は、環境方針を達成するために、「守ろう環境、生かそう資源のリサイクル」をスローガンに、事業活動が与える環境影響の中で、次の項目を重点に環境マネジメント活動を行い、定期的に見直しを実施する。

1）事業活動で生じる二酸化炭素排出量及び水使用量の削減に取り組みます。

・　省エネ、省資源活動を推進します。

2）循環型社会構築に寄与する為、受託した廃棄物の再資源化に取り組み、リサイクル率向上に努めます。数値目標を定め、継続的改善を図り、その結果を開示いたします。

3）地域環境保全に有効な、森林保護育成を目指し、ボランティア活動を実践します。

4.　環境教育の充実を図り、全員参加で取組む。(全従業員及び当社のために働く全ての人に環境方針を周知する)

5.　周辺美化運動等により地域環境保全活動に積極的に取組み、住民とのコミュニケーシを大切にする。

制定日平成 23 年 5 月 1 日
改訂日平成 26 年 5 月 23 日
改定日平成 29 年 5 月 1 日

株式会社リサイクルクリーン

代表取締役　藤城　太郎

実施体制

当社はエコアクション２１環境経営システムを構築、運用、維持し、環境への取組を実施するために効果的な実施体制を構築する。実施体制は「(株)リサイクルクリーン　エコアクション２１　組織図」に示し、各自の役割、責任及び権限を定め全従業員に周知する。

＊社長

① 環境方針を策定する。
② 責任者を選任するとともに、各要員、所定の技能･技術、資金の経営資源を確保する。
③ エコアクション２１環境経営システム推進体制を策定する。
④ 環境経営システムの見直しを行う。
⑤ 緊急事態発生時における対応処理の統括的な指揮をとる。
⑥ 「環境マネジメントマニュアル」、「全社環境目標」、「全社/部門活動計画」を承認する。
⑦ 「全社環境目標」、「全社/部門環境活動計画」の定期策定、見直しを指示し承認する。
⑧ 内部監査チームリーダー/内部監査委員を任命し、内部環境監査の実施を指示する。

＊環境管理責任者（副環境管理責任者）

① エコアクション２１:２００９年版（産業廃棄物処理業者向けガイドライン）規格の要求事項に適合した環境経営システムを確立、実施、維持及び管理を行う。
② 見直し及び環境経営システムの改善の基礎として、社長に環境経営システムの実績を報告する（全社エコアクション２１推進会議を毎月一回開催する)。
③ 「環境への負荷の自己チェック」を策定する。
④ 「環境への取組の自己チェック」を策定する。
⑤ 「法規制等登録一覧」を策定する。
⑥ 「全社環境目標」及び「全社環境活動計画」を策定し、達成の責任を持つとともに、その項目の監視、測定及び不適合の場合の是正及び予防処理を行う。
⑦ 部門長が策定した部門の「部門環境活動計画」を審査する。
⑧ 社内外のコミュニケーションの総括的な責任を負う。
⑨ 「環境マネジメントマニュアル」を作成するとともに、環境経営システムの各文書の整備を指示する
⑩ 関連会社への周知、協力の要請等を行う。
⑪ 緊急事態発生時における対応処置の指揮をとる。(社長が不在の時は、責任者が代行する)。
⑫ 全社に係る環境教育訓練の計画立案及び管理者教育を実施する。

＊本部事務局長（副本部事務局長）

① 環境経営システム文書の作成、管理を行う。
② 環境経営システムの構築及び維持管理に関する事務局、並びに責任者の補佐を行う。
③ 「全社エコアクション２１推進会議議事録」を作成する。

＊部門長

① 責任者が策定する「環境への負荷の自己チェック」の調査に協力する。
② 責任者が策定する「環境への取組の自己チェック」の調査に協力する。
③ 環境関連法規等の対応を実施する。
④ 「部門環境活動計画」を策定し、達成の責任を持つとともに、その項目の監視、測定及び不適合の場合の是正及び予防処置を行う。
⑤ 部門エコアクション推進会議を月一回開催する。

⑥　環境に関する一般教育（新入社員教育を含む）の計画立案及び教育を実施する。

⑦　緊急事態への準備及び対応並びに緊急事態発生時における対応処理の指揮をとる。

＊内部環境監査チームリーダー（略称：内部環境監査 TL）

①　内部監査実施計画を作成し、社長の承認を得る。

②　内部監査結果を社長に報告する。

③　指摘事項の是正処置結果を確認する。

④　推進会議にて監査結果を報告する。

＊内部監査員

①　内部環境監査 TL の指示に従い、「内部環境監査チェックリスト」に基づいて、監査を行う。

＊部門事務局リーダー（兼副部門長）

①　部門長を代行し、部門の環境経営システムを推進する。

②　緊急事態発生時における対応処置の指揮をとる。（部門長不在時は代行する）。

＊部門事務局サブリーダー

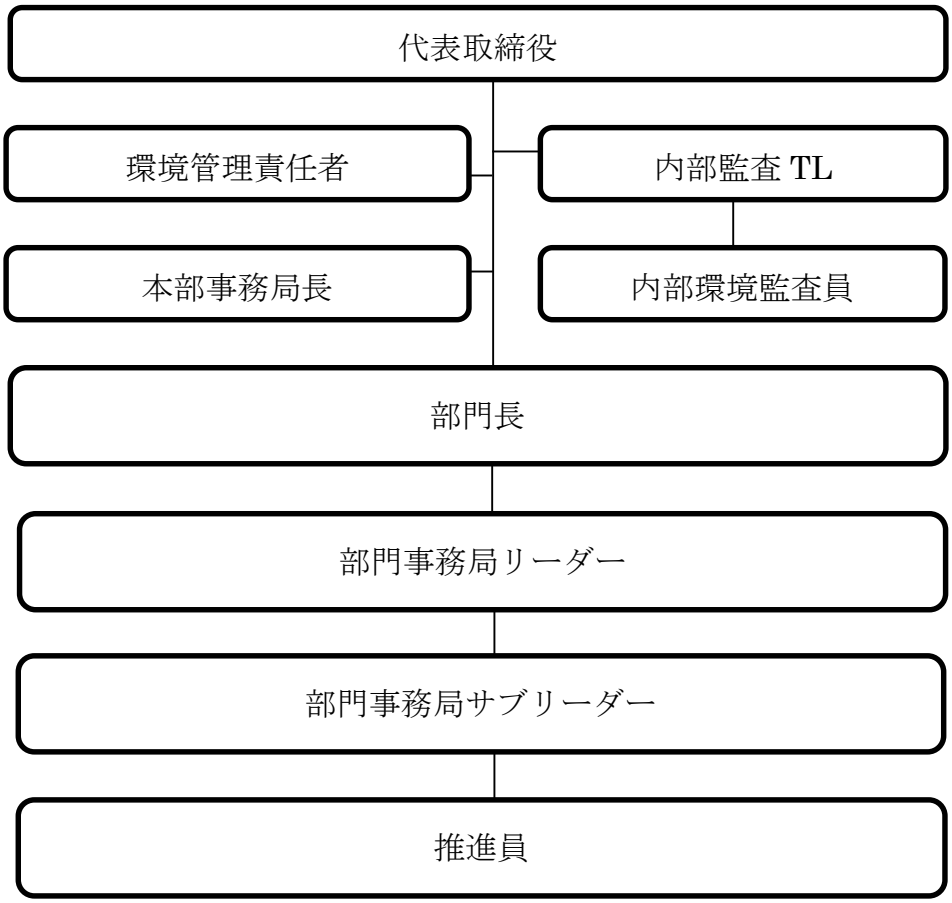
①　部門事務局リーダーを補佐し、部門の環境経営システムを推進する。

②　部門エコアクション２１推進会議の議事録を作成する。

＊推進員

①　部門の環境経営システムを推進する。

**エコアクション組織図**　　**H28.5.1**



## 4　環境目標

### 環境活動数値の中期３ヵ年目標①

◆項目の用語について◆

① 電気使用率 → 廃棄物出荷量1m3に対する電気使用量（工場が対象）
② ガソリン燃費 → 燃料1リットルあたりの車両の走行距離
③ 軽油燃費（車両） → 燃料1リットルあたりの車両の走行距離
④ 軽油燃費（重機） → 燃料1リットルあたりの重機の稼働時間

| 事業所 | 項目 | 平成 30 年度目標 | | 平成 31 年度目標 | | 平成 32 年度目標 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全社 | 電気使用量（営業事務） | 102,340 | kwh | 101,317 | kwh | 100,293 | kwh |
| | 電気使用率（工場）※1 | 46.1 | kWh/m3 | 45.6 | kWh/m3 | 45.2 | kWh/m3 |
| | ガソリン燃費 | 20.3 | Km/L | 20.3 | Km/L | 20.4 | Km/L |
| | 軽油燃費（車両） | 5.1 | Km/L | 5.1 | Km/L | 5.1 | Km/L |
| | 軽油燃費（重機） | 0.17 | h/L | 0.17 | h/L | 0.17 | h/L |
| | LPG使用量※2 | 203 | m3 | 203 | m3 | 202 | m3 |
| | CO2 排出量 | 6169.6 | t | 61079. | t | 6046.2 | t |
| | 水使用量※3 | 8,003 | m3 | 7923 | m3 | 7843 | m3 |
| | リサイクル率 | 88.0 | % | 88.0 | % | 88.0 | % |
| | 森林保護活動 | 2 | 回 | 2 | 回 | 2 | 回 |
| 営業・事務 | 電気使用量 | 64,826 | kwh | 64,178 | kwh | 63,529 | kwh |
| | ガソリン燃費 | 20.4 | Km/L | 20.4 | Km/L | 20.5 | Km/L |
| | LPG使用量 | 30.6 | m3 | 32.0 | m3 | 31.5 | m3 |
| | CO2排出量 | 101.6 | t | 100.6 | t | 99.6 | t |
| 第一工場 | 電気使用率 | 6.65 | kWh/m3 | 6.65 | kWh/m3 | 6.65 | kWh/m3 |
| | 軽油燃費（車両） | 4.1 | Km/L | 4.1 | Km/L | 4.2 | Km/L |
| | 軽油燃費（重機） | 0.18 | h/L | 0.18 | h/L | 0.18 | h/L |
| | CO2排出量 | 501.8 | t | 503.0 | t | 491.8 | kg |
| | 水使用量 | 1026 | m3 | 1026 | m3 | 1026 | m3 |
| | リサイクル率 | 76.7 | % | 77.7 | % | 78.7 | % |
| 第二工場 | 電気使用率 | 7.36 | kWh/m3 | 7.35 | kWh/m3 | 7.34 | kWh/m3 |
| | 軽油燃費（重機） | 0.20 | h/L | 0.20 | h/L | 0.20 | h/L |
| | LPG使用量 | 0.7 | m3 | 0.7 | m3 | 0.7 | m3 |
| | CO2排出量 | 84.8 | t | 84.0 | t | 83.1 | t |
| | 水使用量 | 510 | m3 | 505 | m3 | 500 | m3 |
| | リサイクル率 | 66.3 | % | 67.3 | % | 68.3 | % |
| 浜北工場 | 電気使用率 | 1894 | kWh/m3 | 1894 | kWh/m3 | 1894 | kWh/m3 |
| | 軽油燃費（重機） | 0.27 | h/L | 0.27 | h/L | 0.27 | h/L |
| | LPG使用量 | 0.3 | m3 | 0.3 | m3 | 0.3 | m3 |
| | CO2排出量 | 14.5 | t | 14.3 | t | 14.2 | t |
| | 水使用量 | 93 | m3 | 93 | m3 | 93 | m3 |
| | リサイクル率 | 91.7 | % | 91.7 | % | 91.7 | % |

※1　RPF 工場の電気使用量を加えた為、目標数値を見直しました。

※2　LPG は衛生面を考慮して目標数値を見直しました。

※3　水使用量は、近隣対策として散水回数を増加した為。

**環境活動数値の中期３ヵ年目標②**

| 事業所 | 項目 | 平成 30 年度目標 | | 平成 31 年度目標 | | 平成 32 年度目標 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 大川工場 | 電気使用率 | 45.08 | kWh/m3 | 44.18 | kWh/m3 | 44.18 | kWh/m3 |
| | 軽油燃費（車両） | 6.4 | Km/L | 6.4 | Km/L | 6.5 | Km/L |
| | 軽油燃費（重機） | 0.17 | h/L | 0.17 | h/L | 0.17 | h/L |
| | LPG使用量 | 16 | m3 | 16 | m3 | 15 | m3 |
| | CO2排出量 | 852.4 | t | 843.9 | t | 835.44 | t |
| | リサイクル率 | 63.3 | % | 64.3 | % | 65.3 | % |
| 岡部工場 | 電気使用率 | 28.1 | kWh/m3 | 27.9 | kWh/m3 | 27.8 | kWh/m3 |
| | 軽油燃費（車両） | 6.4 | Km/L | 6.4 | Km/L | 6.5 | Km/L |
| | 軽油燃費（重機） | 0.17 | h/L | 0.17 | h/L | 0.17 | h/L |
| | LPG使用量 | 16 | m3 | 16 | m3 | 16 | m3 |
| | CO2排出量 | 467.2 | t | 462.5 | t | 457.9 | t |
| | リサイクル率 | 72.6 | % | 73.6 | % | 74.6 | % |
| 袋井工場 | 電気使用率 | 42.0 | kWh/m3 | 41.5 | kWh/m3 | 41.1 | kWh/m3 |
| | 軽油燃費（車両） | 5.2 | Km/L | 5.2 | Km/L | 5.3 | Km/L |
| | 軽油燃費（重機） | 0.12 | h/L | 0.12 | h/L | 0.12 | h/L |
| | LPG使用量 | 36 | m3 | 36 | m3 | 35 | m3 |
| | CO2 排出量 | 777.1 | t | 769.3 | t | 761.6 | t |
| | 水使用量 | 860 | m3 | 855 | m3 | 850 | m3 |
| | リサイクル率 | 67.0 | % | 68.0 | % | 69.0 | % |
| 袋井RPF工場 | 電気使用率 | 210 | kWh/m3 | 208 | kWh/m3 | 207 | kWh/m3 |
| | 軽油燃費（重機） | 0.14 | h/L | 0.14 | h/L | 0.14 | h/L |
| | LPG 使用量 | 28.2 | m3 | 27.7 | m3 | 27.2 | m3 |
| | CO2 排出量 | 2030.4 | t | 2010.1 | t | 1989.8 | t |
| | 水使用量 | 3200 | m3 | 3150 | m3 | 3100 | m3 |
| 桜台工場 | 電気使用率 | 65.1 | kWh/m3 | 64.6 | kWh/m3 | 64.1 | kWh/m3 |
| | 軽油燃費（車両） | 5.7 | Km/L | 5.7 | Km/L | 5.8 | Km/L |
| | 軽油燃費（重機） | 0.22 | h/L | 0.22 | h/L | 0.22 | h/L |
| | LPG 使用量 | 51.3 | m3 | 50.8 | m3 | 50.3 | m3 |
| | CO2 排出量 | 453.7 | t | 449.2 | t | 444.6 | t |
| | 水使用量 | 934 | m3 | 925 | m3 | 915 | m3 |
| | リサイクル率 | 56.7 | % | 57.7 | % | 58.7 | % |
| 浜松営業所 | 電気使用率 | 160 | kWh/m3 | 15.9 | kWh/m3 | 15.8 | kWh/m3 |
| | 軽油燃費（車両） | 4.2 | Km/L | 4.2 | Km/L | 4.3 | Km/L |
| | 軽油燃費（重機） | 0.31 | h/L | 0.31 | h/L | 0.31 | h/L |
| | LPG使用量 | 13.8 | m3 | 13.8 | m3 | 13.8 | m3 |
| | CO2 排出量 | 421.1 | t | 416.9 | t | 412.7 | t |
| | 水使用量 | 279 | m3 | 276 | m3 | 272 | m3 |

環境活動数値の中期３ヵ年目標③

| 事業所 | 項目 | 平成 30 年度目標 | | 平成 31 年度目標 | | 平成 32 年度目標 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 協同C | 電気使用量 | 22,195 | kwh | 21,973 | kwh | 21,751 | kwh |
| | CO2 排出量 | 10.7 | t | 10.6 | t | 10.5 | t |
| | 水使用量 | 116 | m3 | 114 | m3 | 113 | m3 |
| 不動産部 | 電気使用量 | 15,319 | kwh | 15,166 | kwh | 15,013 | kwh |
| | ガソリン使用量 | 22.8 | Km/L | 22.9 | Km/L | 23.0 | Km/L |
| | CO2 排出量 | 9.8 | t | 9.8 | t | 9.7 | t |
| | 水使用量 | 22 | m3 | 22 | m3 | 23 | m3 |
| 磐田工場 | 電気使用率 | 1.42 | kWh/m3 | 1.42 | kWh/m3 | 1.42 | kWh/m3 |
| | 軽油燃費（車両） | 3.0 | Km/L | 3.0 | Km/L | 3.1 | Km/L |
| | 軽油燃費（重機） | 0.1 | h/L | 0.1 | h/L | 0.1 | h/L |
| | LPG使用量 | 14.3 | m3 | 14.2. | m3 | 14.1 | m3 |
| | CO2 排出量 | 292.7 | t | 289.8 | t | 286.8 | t |
| | 水使用量 | 963 | m3 | 960 | m3 | 957 | m3 |
| 解体班 | ガソリン燃費 | 12.8 | Km/L | 12.9 | Km/L | 13.0 | Km/L |
| | 軽油燃費（重機） | 6.2 | Km/L | 6.2 | Km/L | 6.2 | Km/L |
| | 軽油燃費（重機） | 0.15 | h/L | 0.15 | h/L | 0.15 | h/L |
| | CO2 排出量 | 145.6 | t | 144.1 | t | 142.7 | t |

＜二酸化炭素排出量算出係数＞

電気→0.48（kg-CO2/kWh）←㈱中部電力平成 28 年度調整後排出係数

ガソリン→2.322(kg-CO2/ﾘｯﾄﾙ）軽油→2.619(kg-CO2/ﾘｯﾄﾙ）　LPG→6.214(kg-CO2/m3)

# Solar power

## 太陽光パネル、順調に稼働中

都田発電所 1

都田発電所 2

都田発電所北側

袋井工場

袋井 RPF 工場

桜台工場

発電量、二酸化炭素削減量は当社ホームページにて
リアルタイムでご覧いただけます

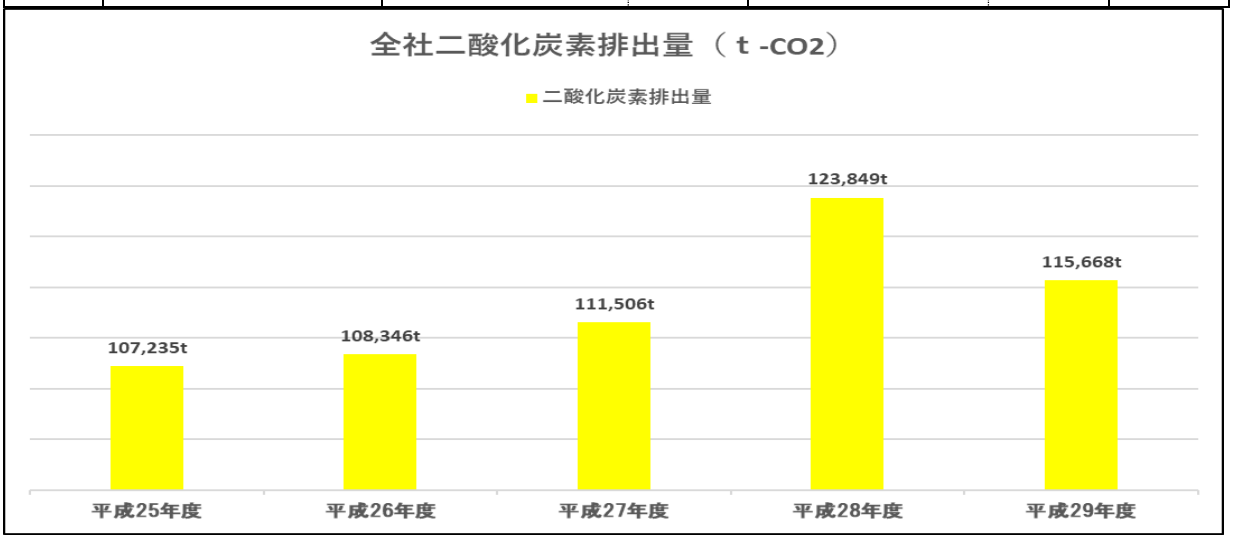
## 5 環境活動計画の内容と取組結果の評価

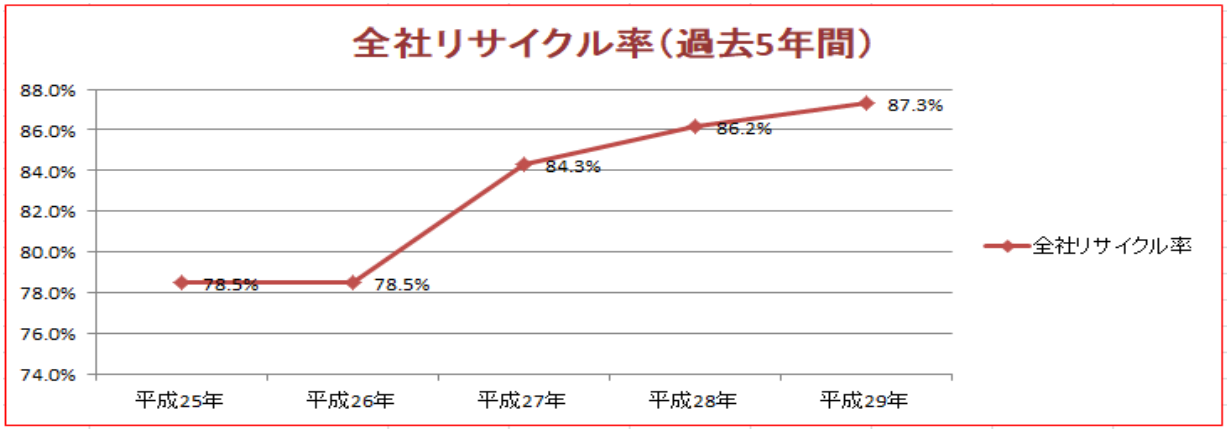
| 環境活動計画の内容 | 評価 | 次年度 |
|---|---|---|
| 1 二酸化炭素総排出量の削減<br><br>① 年費の向上<br>エコドライブの実践、<br>作業効率アップ。<br>解体現場重機等の燃費向上。<br>② 電力使用量の削減<br>日中の点灯照明削減。<br>残業の削減。<br>空調温度設定の適正化。 | ① アイドリングストップの実践<br>配車の工夫を実践<br><br>② 日中の照明器点灯数を調整した<br>労務管理申請書の整備と運用により残業時間の把握をした。<br>夏は 27℃ 冬は 22℃ に設定 | 継続<br><br>継続 |
| 2 廃棄物のリサイクル率向上と維持<br><br>① 従業員のコスト意識の向上<br>埋立処分及び焼却処分原価の周知により、原価意識の向上を図る。<br>② 有価物の選別強化<br>選別ラインマニュアルの見直し。<br>人員配置の再考。<br>③ リサイクル対象品の再確認<br>④ 写真、実物などで具体的に対象品を示すことで認知度を向上させる。<br>⑤ 分別解体によるリサイクル率 UP | （目標 88%に対し実績 87.3%）<br><br>① リサイクル率の一覧表を作成し、意識の向上に努めた。<br><br>② 人事異動、役割変更を行い、適正化を進めた。<br><br>③ RPF 原料のパンフレット等を作成し周知に努めた。 | 継続<br><br>継続<br><br>継続 |
| 3 総排水量の削減<br><br>① 節水の呼びかけ。<br><br>② 具体的な手段の計画 | ① 会議、朝礼等で呼びかけを行った | 継続<br><br>継続 |
| 4 森林保護育成活動の推進<br><br>① 育成活動実行計画策定<br>本年度実施計画、秋に 1 回、春に 1 回実施する･<br>② 参加の呼びかけ | ① 年2回実施 16 名参加<br>（春雨天の為幹事のみ 7/1 実施）<br>（秋は 14 名参加 11/4 実施）<br><br>② 朝礼、社内報等で周知。 | 継続<br><br>継続 |

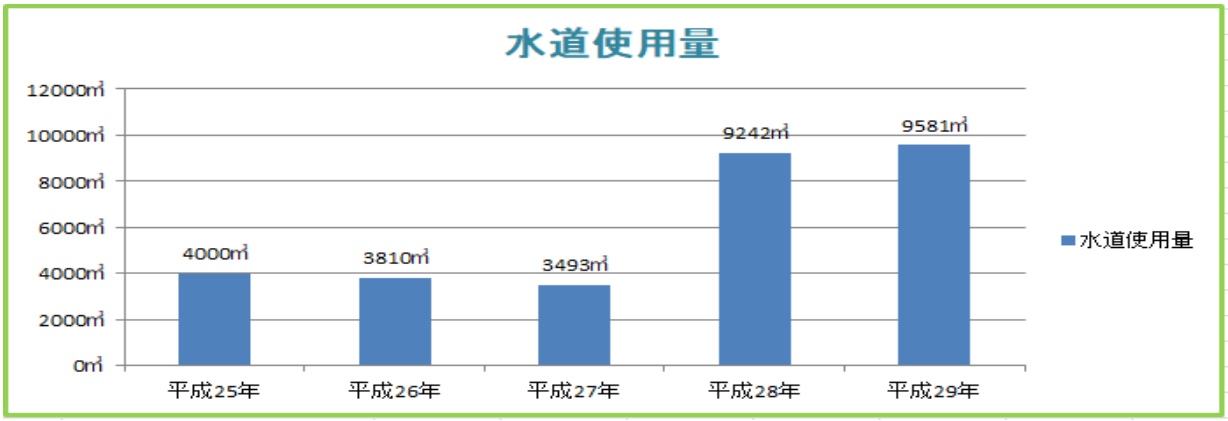
## 6 環境活動数値の実績と評価①

＊〇＝計画通り　×＝未達成　　表6—1

| 事業所 | 項目 | 平成 29 年度目標 | | 平成 29 年度実績 | | 評価 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 全社 | 電気使用量(営業事務) | 83,962 | Kwh | 77,707 | kwh | 〇 |
| | 電気使用率 | 8.4 | kwh/m3 | 10.9 | kwh/m3 | × |
| | ガソリン燃費 | 19.7 | km/L | 20.6 | km/L | 〇 |
| | 軽油燃費(車両) | 5.04 | km/L | 5.02 | km/L | × |
| | 軽油燃費(重機) | 0.15 | h/L | 0.16 | h/L | 〇 |
| | LPG使用量 | 246 | m3 | 176 | m3 | ○ |
| | CO2 排出量 | 129,688 | t | 115,688 | t | ○ |
| | リサイクル率 | 88.0 | % | 87.3 | % | × |
| | 水使用量 | 10,432 | m3 | 7,304 | m3 | ○ |
| | 森林保護活動 | 2 | 回 | 2 | 回 | 〇 |



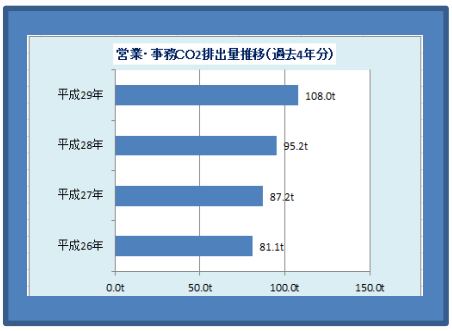



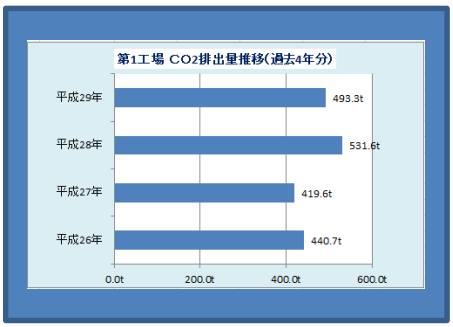



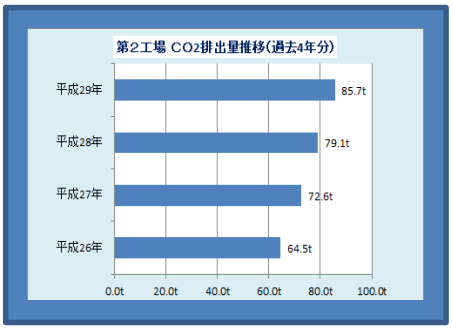
## 6 環境活動数値の実績と評価②

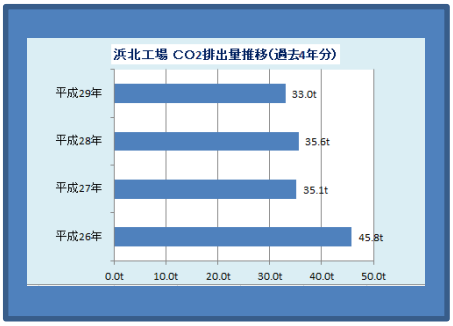
＊〇＝計画通り　×＝未達成　　表6—2

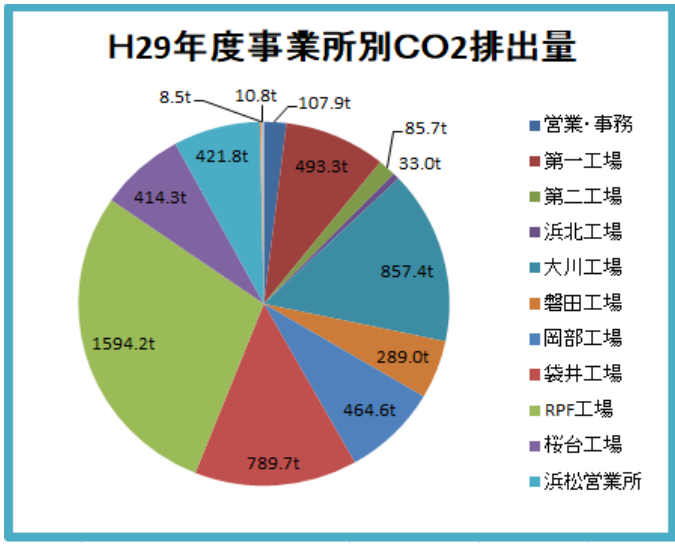
| 事業所 | 項目 | 平成 29 年度目標 | | 平成 29 年度実績 | | 評価 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 本社 | 電気使用量 | 45,603 | kwh | 44,692 | kwh | 〇 |
| | ガソリン燃費 | 19.7 | km/L | 20.6 | km/L | 〇 |
| | LPG使用量 | 32.5 | m3 | 30.6 | m3 | 〇 |
| | CO2排出量 | 95.1 | t | 108.0 | t | × |
| | 森林保護活動 | 2 | 回 | 2 | 回 | 〇 |
| 第一工場 | 電力使用率 | 2.44 | Kwh/m3 | 2.96 | Kwh/m3 | × |
| | 軽油燃費（車両） | 4.12 | km/L | 4.11 | km/L | × |
| | 軽油燃費（重機） | 0.19 | h/L | 0.17 | h/L | × |
| | CO2 排出量 | 531.6 | t | 493.3 | t | 〇 |
| | リサイクル率 | 81.0 | % | 79.9 | % | × |
| | 水道使用量 | 955 | m3 | 629 | m3 | 〇 |
| | 森林保護活動 | 2 | 回 | 2 | 回 | 〇 |
| 第二工場 | 電力使用率 | 2.13 | Kwh/m3 | 2.58 | Kwh/m3 | × |
| | 軽油燃費（重機） | 0.18 | h/L | 0.20 | h/L | 〇 |
| | LPG使用量 | 1.5 | m3 | 0.7 | m3 | 〇 |
| | CO2 排出量 | 79,122 | kg | 85727 | kg | × |
| | リサイクル率 | 81.0 | % | 79.9 | % | × |
| | 水使用量 | 750 | m3 | 513 | m3 | 〇 |
| | 森林保護活動 | 2 | 回 | 2 | 回 | 〇 |
| 浜北工場 | 電力使用率 | 16.2 | Kwh/m3 | 13.0 | Kwh/m3 | 〇 |
| | 軽油燃費（重機） | 0.33 | h/L | 0.29 | h/L | × |
| | LPG使用量 | 1.2 | m3 | 0.9 | m3 | 〇 |
| | CO2 排出量 | 35.6 | t | 33.0 | t | 〇 |
| | リサイクル率 | 88.0 | % | 90.6 | % | 〇 |
| | 水道使用量 | 64 | m3 | 79 | m3 | × |
| | 森林保護活動 | 2 | 回 | 2 | 回 | 〇 |

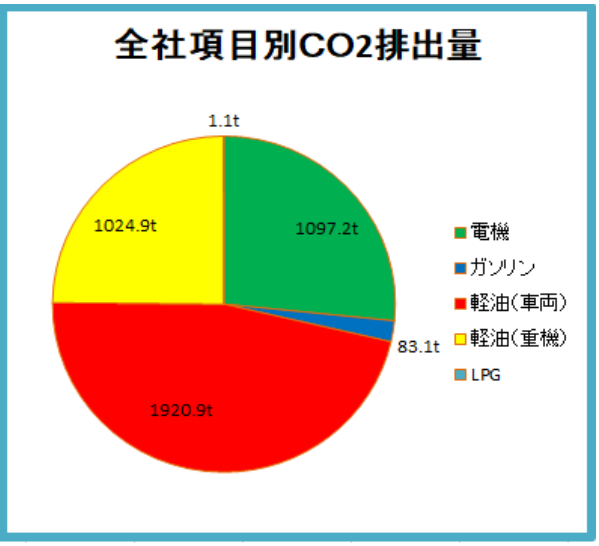


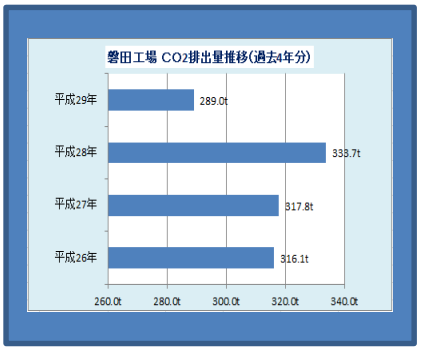



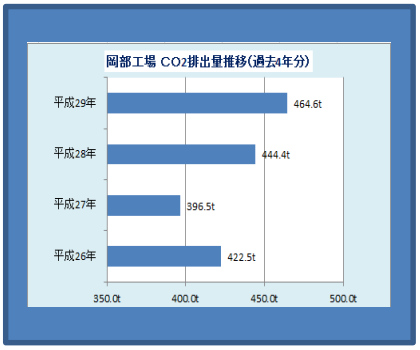



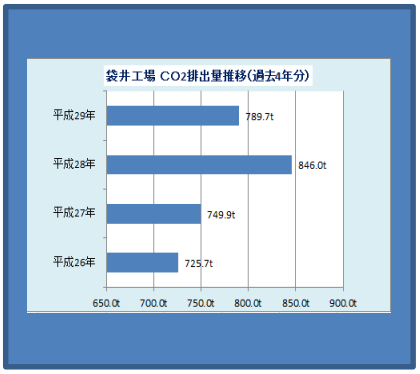
## 6 環境活動数値の実績と評価③

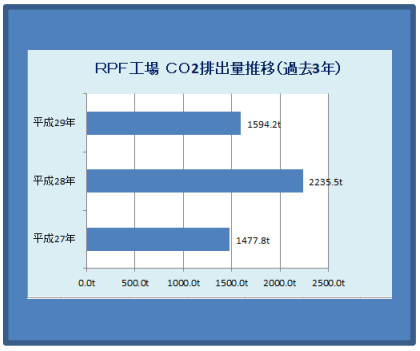
＊〇＝計画通り　×＝未達成　　表6—3

| 事業所 | 項目 | 平成 29 年度目標 | | 平成 29 年度実績 | | 評価 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 大川工場 | 電気使用率 | 14.55 | Kwh/m3 | 13.86 | Kwh/m3 | 〇 |
| | 軽油燃費（車両） | 6.3 | km/L | 6.42 | km/L | 〇 |
| | 軽油燃費（重機） | 0.16 | h/L | 0.18 | h/L | 〇 |
| | LPG使用量 | 14.5 | m3 | 5.1 | m3 | 〇 |
| | CO2排出量 | 813.1 | t | 857.4 | t | × |
| | リサイクル率 | 79.0 | % | 77.0 | % | × |
| | 森林保護活動 | 2 | 回 | 2 | 回 | 〇 |
| 磐田工場 | 電気使用率 | 3.14 | Kwh/m3 | 2.92 | Kwh/m3 | 〇 |
| | 軽油燃費（車両） | 2.65 | km/L | 3.37 | km/L | 〇 |
| | 軽油燃費（重機） | 0.09 | h/L | 0.12 | h/L | 〇 |
| | LPG使用量 | 11.6 | m3 | 12.0 | m3 | × |
| | CO2 排出量 | 333.7 | t | 289.0 | t | 〇 |
| | 水道使用量 | 792 | m3 | 989 | m3 | × |
| | 森林保護活動 | 2 | 回 | 2 | 回 | 〇 |
| 岡部工場 | 電気使用率 | 9.40 | Kwh/m3 | 10.04 | Kwh/m3 | × |
| | 軽油燃費（車両） | 6.20 | km/L | 5.80 | km/L | × |
| | 軽油燃費（重機） | 0.23 | h/L | 0.21 | h/L | × |
| | LPG使用量 | 16.2 | m3 | 10.6 | m3 | 〇 |
| | CO2排出量 | 444.4 | t | 464.6 | t | × |
| | リサイクル率 | 83.0 | % | 81.2 | % | × |
| | 森林保護活動 | 2 | 回 | 2 | 回 | 〇 |
| 袋井工場 | 電力使用率 | 13.5 | Kwh/m3 | 17.4 | Kwh/m3 | 〇 |
| | 軽油燃費（車両） | 5.18 | km/L | 5.18 | km/L | 〇 |
| | 軽油燃費（重機） | 0.14 | h/L | 0.11 | h/L | × |
| | LPG使用量 | 47.3 | m3 | 28.9 | m3 | 〇 |
| | CO2 排出量 | 846.0 | t | 789.7 | t | 〇 |
| | リサイクル率 | 77.0 | % | 84.4 | % | 〇 |
| | 水道使用量 | 985 | m3 | 891 | m3 | 〇 |
| | 森林保護活動 | 2 | 回 | 2 | 回 | 〇 |
| 袋井RPF工場 | 電気使用率 | 200.0 | Kwh/t | 187.7 | Kwh/t | 〇 |
| | 軽油燃費（重機） | 0.09 | h/L | 0.14 | h/L | 〇 |
| | LPG使用量 | 26.5 | m3 | 22.6 | m3 | 〇 |
| | CO2 排出量 | 2235.5 | t | 1594.2 | t | 〇 |
| | リサイクル率 | 100 | % | 100 | % | 〇 |
| | 水道使用量 | 6,020 | m3 | 2,277 | m3 | 〇 |
| | 森林保護活動 | 2 | 回 | 2 | 回 | 〇 |



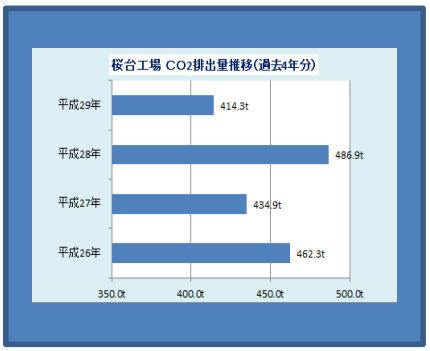



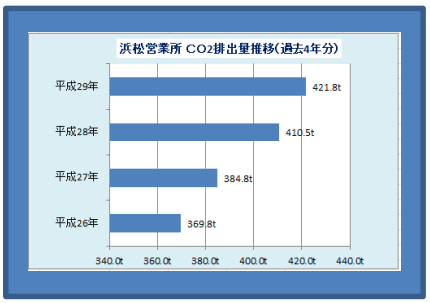



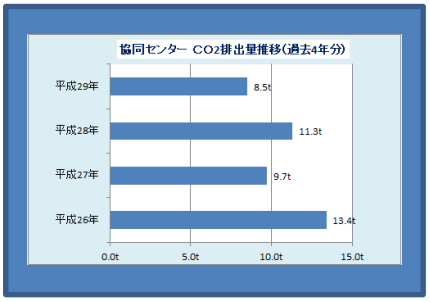

## 6 環境活動数値の実績と評価④

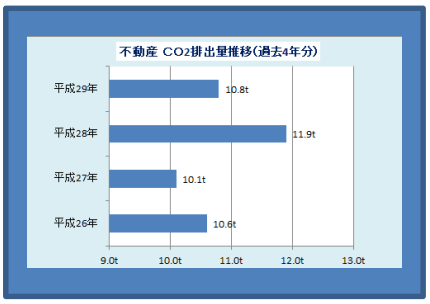
＊〇＝計画通り　×＝未達成　　6―4

| 事業所 | 項目 | 平成 29 年度目標 | | 平成 29 年度実績 | | 評価 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 桜台工場 | 電気使用率 | 14..0 | Kwh/m3 | 12.0 | Kwh/m3 | 〇 |
| | 軽油燃費（車両） | 5.69 | km/L | 5.67 | km/L | × |
| | 軽油燃費（重機） | 0.22 | h/L | 0.23 | h/L | 〇 |
| | LPG使用量 | 78.5 | m3 | 51.3 | m3 | 〇 |
| | CO2排出量 | 486.9 | t | 414.3 | t | 〇 |
| | リサイクル率 | 77.0 | % | 78.8 | % | 〇 |
| | 水道使用量 | 515 | m3 | 788 | m3 | × |
| | 森林保護活動 | 2 | 回 | 2 | 回 | 〇 |
| 浜松営業所 | 電気使用量 | 18.2 | Kwh/m3 | 15.3 | Kwh/m3 | 〇 |
| | 軽油燃費（車両） | 4.18 | km/L | 4.14 | km/L | × |
| | 軽油燃費（重機） | 0.24 | h/L | 0.28 | h/L | 〇 |
| | LPG使用量 | 14.2 | m3 | 13.8 | m3 | 〇 |
| | CO2 排出量 | 410.5 | t | 421.8 | t | × |
| | 水道使用量 | 282 | m3 | 280 | m3 | 〇 |
| | 森林保護活動 | 2 | 回 | 2 | 回 | 〇 |
| 協同センター | 電気使用量 | 22,042 | kwh | 17,214 | kwh | 〇 |
| | CO2排出量 | 11.3 | t | 8.5 | t | 〇 |
| | 水道使用量 | 48 | m3 | 54 | m3 | × |
| | 森林保護活動 | 2 | 回 | 2 | 回 | 〇 |
| 不動産部 | 電気使用量 | 16,317 | kwh | 15,801 | kwh | 〇 |
| | ガソリン燃費 | 14.7 | km/L | 18.7 | km/L | 〇 |
| | CO2排出量 | 11.9 | t | 10.8 | t | 〇 |
| | 水道使用量 | 20 | m3 | 24 | m3 | × |
| | 森林保護活動 | 2 | 回 | 2 | 回 | 〇 |




＜二酸化炭素排出量算出係数＞

電気→0.48(kg-CO2/kWh)　←㈱中部電力平成 26 年度調整後排出係数

ガソリン→2.322(kg-CO2/ﾘｯﾄﾙ)　軽油→2.619(kg-CO2/ﾘｯﾄﾙ)　　LPG→6.214(kg-CO2/m3)

※環境活動数値の実績と評価に関して、部門ごとの評価をみると相変わらず部門ごとのバラツキが目立ちます。しかし、全社評価を見ると特に重要視している廃棄物のリサイクル率に関しては毎年数値が改善しており、今後も更なるリサイクル率向上に PDCA サイクルを活用し活動していきたいと思います。CO2 の排出抑制に関しては、前年の実績を下まわることができました。桜台工場の機械入替による停止期間等がありましたが、積極的な新車の投入、重機の入替等もの排出量抑制の要因と考えられます。今後は目標とする数値の評価設定にまで踏み込み精査して行き、エコアクション21の活動を意義あるものとできるよう、全社員をまき込んで展開していきたいと考えています。

## 8・ 環境関連法規への違反、訴訟等①

確認日　平成 30 年 5 月 30 日

| 対象環境関連法規 | 違　反 | 訴　訟 |
|---|---|---|
| 水質汚濁防止法（貯油タンク） | 無 | 無 |
| 下水道法（第一、桜台、浜松営業所） | 無 | 無 |
| 浄化槽法（上記以外の事業所） | 無 | 無 |
| 騒音規制法（コンプレッサー、集塵機） | 無 | 無 |
| 振動規制法（コンプレッサー） | 無 | 無 |
| 悪臭防止法 | 無 | 無 |
| 高圧ガス保安法（LPG 利用事業所） | 無 | 無 |
| 消防法（貯油タンク、RPF、BDF 等） | 無 | 無 |
| PCB 特別措置法 | 無 | 無 |
| フロン排出抑制法 | 無 | 無 |
| 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 | 無 | 無 |
| 家電リサイクル法 | 無 | 無 |
| 建設リサイクル法 | 無 | 無 |
| 自動車リサイクル法 | 無 | 無 |
| オフロード法 | 無 | 無 |
| NOx、PM法 | 無 | 無 |

＊関係官庁、当局による違反等の指摘は、過去3年間ありません。

**住民協定への違反、訴訟等確認日**

確認日　平成 30 年 5 月 30 日

| 周辺住民、自治体等との協定 | | 違　反 | 訴　訟 |
|---|---|---|---|
| 大川工場 | 天竜川水質保全に関する協定書（漁業組合） | 無 | 無 |
| 岡部工場 | 環境保全協定書（藤枝市岡部町） | 無 | 無 |
| | 町内会との協定書（藤枝市殿町） | 無 | 無 |
| | 近隣地主との覚書 | 無 | 無 |
| 袋井工場 | 環境保全協定書（袋井市） | 無 | 無 |
| | 自治会との協定書（袋井市村松西自治会） | 無 | 無 |
| 桜台工場 | 環境保全協定書（和地地区自治会連合会） | 無 | 無 |

＊地域住民との訴訟事件等は、過去3年間ありません。

**優良産廃業者に認定されました**

産業廃棄物収集運搬業（静岡県）　平成 27 年 12 月 2 日

産業廃棄物処分業（静岡県）　平成 27 年 10 月 13 日

産業廃棄物処分業（浜松市）　平成 27 年 10 月 9 日

## 9・代表者による全体の評価と見直しの結果（マネージメントレビュー）

平成 30 年　6 月 19 日

| 報告事項 | 報告内容 |
|---|---|
| 外部審査、内部監査の結果、法的要求事項及びその他の要求事項の順守評価の結果 | H29 年7月 25 日に実施した更新審査において「ｴｺｱｸｼｮﾝ 21 産業廃棄物処理業者向けｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ 2009 版」の要求ついては不適合が確認されず PDCA ｻｲｸﾙが適正に確立されているとの審査結果となった。事業内容に「建物解体工事業」の記載があるため、今後は建設業者向けのガイドラインも適用になる。H30 年 2 月 21 日の内部監査においては文書の是正と軽微な指摘が大半だったが管理者、事務局の管理の不備であると考える。ﾘｻｲｸﾙ率をはじめ改善項目が多々あるが、毎月の推進会議で問題点の抽出し、日々の活動の中で改良、改善をすすめてゆく。 |
| 事故、苦情を含む外部の利害関係者からのコミュニケーション | 今期、苦情はなし。ただし、軽微な指摘事項や改善要求があったので、それらを真摯に受けとめ、ｻｰﾋﾞｽの向上につなげてゆきたい。 |
| 環境活動計画の達成状況 | 環境活動計画については、毎月のエコアクション 21 推進会議において常に数値に基づいた改善点を模索しておりますが、的確に事象をとらえ指示や提案が出きているのか判断に苦しむことがある。しかし、部門長のコメントを含め、各部門の取組について成長が感じられ「継続」の成果を感じている。燃費、ﾘｻｲｸﾙ率、CO2 排出量の削減については、車両、重機、設備等の更新も含め、さらなる改善を目標とする。 |
| 本ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄｼｽﾃﾑに影響のある変化している周囲の状況 | 浜北工場の不定期操業、袋井 RPF 工場の操業時間短縮、桜台工場の重機入替に伴う休業等運用面において目標数値との乖離の要因となる事象が散見するも、概ね目標数値に近づくような活動ができていたと考える。今期以降、前年活動し解散した「5S 委員会」も含めた形で「エコアクション 21」の活動を展開してゆく。 |
| 変更の必要性 | 決定及び処置 |
| 環境方針<br>必要/(不要) | 経営目標、方針に沿ったかたちでエコアクション 21 平成 30 年度活動内容を設定するように指示をした。 |
| 環境目標<br>必要/(不要) | 前年度の数値実績を検証したうえで、次年度の数値目標の策定をするように指示をした。 |
| EA21のその他の要素<br>(必要)/不要 | 建設業ガイドラインに沿ってマニュアルを変更すように指示をした。 |
| 【備考】 | |